

高岡圏域における 医療提供の現状と将来推計

令和6年2月29日

富山大学附属病院 病院長特別補佐（経営担当）

地域医療総合支援学講座 客員准教授

小林大介 kobadai@med.u-toyama.ac.jp

1

自己紹介（委員歴）

現在継続中のもののみ

H28年2月～ 愛知県医師会地域医療政策研究機構委員会 委員

H30年6月～ 医療経済学会 学術推進委員会 委員

H30年7月～ 兵庫県医師会「シンクタンク」 委員

H30年8月～ 厚生労働省委嘱 地域医療構想アドバイザー（兵庫県）

R2年1月～ 日本医療マネジメント学会兵庫支部 代議員（R2年9月より世話人）

R2年8月～ 兵庫県 病院構造改革委員会 委員

R2年9月～ 一般社団法人次世代基盤政策研究所 上席研究員

R4年1月～ 日本医療・病院管理学会 評議員

（生涯学習委員会、学術情報委員会 委員）

R4年1月～ 日本呼吸器学会 MDD診断保険収載検討タスクフォースメンバー

R4年7月～ 日本医療情報学会 評議員

R4年10月～ 北播磨総合医療センター企業団

公立病院経営強化プラン策定アドバイザー

R4年10月～ （広島県）福山・府中圏域地域医療構想アドバイザー

R5年6月～ 日本医療マネジメント学会 評議員

R5年7月～ 日本公衆衛生学会 代議員

1 事業の目的

- 〇 都道府県は、R5年度中に第8次医療計画を策定（R6～R11年度）するとともに、地域医療構想の実現に向け、R4～5年度において医療機関の対応方針の策定等を進めている。
- 〇 計画策定には、地域の現場感覚とマッチしたデータ分析が必要であるため、都道府県におけるデータ分析体制の構築を支援。
- 〇 分析事例を集積し、分析体制のベストプラクティスを検討・実践することで、計画策定に限らず、令和7年及び2040年に向けた地域医療構想の推進について、都道府県が自主的に分析・企画・立案できる体制の整備に繋げる。

2 事業の概要

- 〇 都道府県を対象に、R4厚生労働科学研究の成果を踏まえた都道府県におけるデータ分析チームの構築を支援する。
- 〇 都道府県は、データ分析チームを活用して、地域（二次医療圏、構想区域）の詳細分析を実施することにより、一層地域の実情に即した医療計画の策定が可能となる。
- 〇 都道府県は、分析体制や分析結果、計画策定におけるデータに基づく議論の成果について事例発表を行い、取組の横展開や事例の集積を図る。

3 事業スキーム・実施主体等



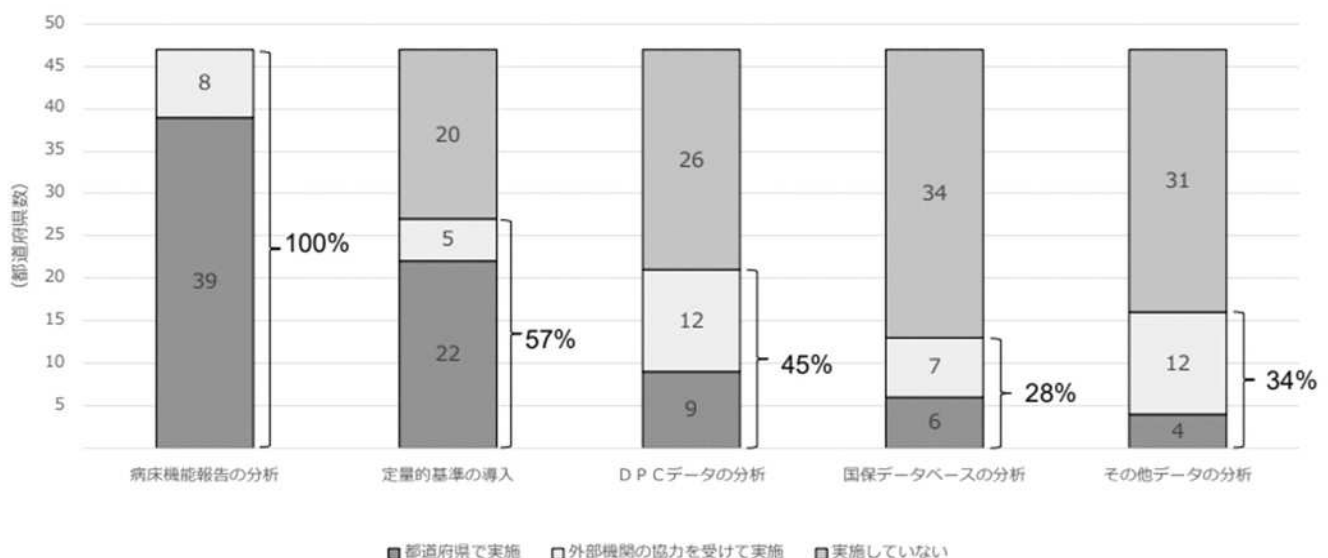
第11回地域医療構想及び医師確保計画に関するWG 資料4

3

地域医療構想調整会議におけるデータに基づく議論の状況

- 〇 病床機能報告の分析は100%、定量的基準の導入は57%の都道府県で実施されている。
- 〇 DPCデータの分析等、地域の詳細な医療機能分析について実施している都道府県は多くない。また、実施している都道府県の半数以上が外部機関の協力を得ている。

地域医療構想調整会議におけるデータに基づく議論の状況（令和4年度）



※その他データの分析

レセプトデータ、介護保険データ、救急搬送データ、統計データ、独自調査（患者調査、診療実態調査、アンケート等）等

医政局地域医療計画課調べ（一部精査中）¹

データから 見る高岡圏 域の医療提 供状況と将 来推計

病床機能報告データはこれまで国が示し、圏域でも使われてこられたはずなので、今回は先に述べたデータ分析事業で収集したDPCデータを基にした分析結果をお示しする

5

よく使われるデータの特徴

	医師・歯科医師・薬剤師統計	病床機能報告データ (集計表)	DPC公開データ	NDBオープンデータ	標準化レセプト出現比 (SCR)
入手しやすさ	ホームページから入手可能	ホームページから入手可能	ホームページから入手可能	ホームページから入手可能	ホームページから入手可能
データの時期 (新しさ)	約1年少し前のデータになる	約1～2年前のデータになる	約1～2年前のデータになる	約2年前のデータになる	約1～2年前のデータになる
分析しやすさ	CSV形式なので表ごとの分析はしやすい	EXCEL形式なので分析はしやすい	EXCEL形式なので分析はしやすい	EXCEL形式なので分析はしやすい	CSVやEXCEL形式なので分析はしやすい
特徴など	二次医療圏単位がない 2年ごとの更新	病院側の入力ミスがあると結果が信用できないことも 月別になったため、1か月でも10件未満があると年間実績が*表示になり不明	医療機関(実名)別の集計もあり、ベンチマーク資料を作成しやすい 一般病棟から一般病棟以外に院内転棟の患者や24時間以内の死亡患者、年度またぎの入院患者などが含まれていない	都道府県別、二次医療圏別、性年齢階級別などの切り口で集計されているので用途に合わせて切り替え可能 10件未満または3機関未満の場合ハイフン表示になるので、あまり医療機関のない地域などは分析できない	年10件未満の場合は空白となるので市町村別などは大都市しか使えない

よく使われるデータの特徴

	NDBデータ 第三者提供	医療計画作 成支援デー タブック	KDBデータ	DPCデータ (個票)	財務諸表
入手しやすさ	やや難(提供申請も書類が多く、一部手数料も必要)	県や県医師会等は入手可能	県などは入手可能(ただし国保連に依頼すると抽出作業費が発生)	難(各病院は自院のデータは使える)	難(公立病院は地方公営企業年鑑で公開)
データの時期 (新しさ)	最新データで申請するも、提供まで1年近くかかると1年半前のデータになる	約1～2年前のデータになる	抽出依頼時期にもよるが、半年から1年前のデータになる	収集時期によっては1～3か月前のデータになる	決算期の半年少し後くらい？(民間は決算期の3～6か月後？)
分析しやすさ	大量のテキストファイルが提供されるため、知識がないとデータベース化するまでが難しい	ブラウザで基礎データを表示したりcsvデータダウンロードができる	データ量とデータクリーニングの面から少々難あり プリセットされたテーマや切り口での分析は比較的容易	形式はわかりやすいが、複数医療機関分となると容量が多く処理に時間がかかる	会計知識が一部必要
特徴など	10件未満または3機関未満の場合*表示になるので、あまり医療機関のない地域や少ない疾患などは分析できない 傷病名はレセ病名なのが注意	10件未満または3機関未満の場合*表示になるので、あまり医療機関のない地域や少ない疾患などは分析できない	突合CSVを用いれば、医療と介護の一体的な利用なども分析可能 一部重複レコードが含まれている可能性も	患者居住地が郵便番号でわかる 診療行為の明細で実施日含め詳細な情報が取得できる 医科保険利用以外の診療行為等は不明	他データ(医師数や患者数など)と突合させて分析すると効果的

7

本事業で「なぜ」DPCデータを分析しようとしているか？

すでに地域医療構想では病床機能報告データを国が分析し424病院（のちの436病院）の公表なども行ってきており、各圏域でも同じデータを用いて分析してきているはず、という前提

- P.4にも示しているとおり
- 病棟ごとのデータであるため、病棟ごとの診療状況が10件未満の場合、*等でマスクされ、病院全体の合計件数が計算できない
- さらに月次報告になったため、1か月でも10件未満があると、病棟の年間合計もマスクされる仕様

8

本事業で「なぜ」DPCデータを 分析しようとしているか？

医療計画策定支援ブック（厚労省から都道府県に提供）をもとに医療計画は策定している

- このデータのもとにはNDBがメイン
- NDBデータは省内利用であっても個人情報部分と医療機関名はマスキングされている
- 医療機関ごとの分析は行えない
- 患者移動を見ている患者居住地はみなし居住地
 - 市町村国保および後期高齢の「保険者市町村」を居住地とみなしている
 - 社保の患者は含まれておらず、地域によるが実際には全体の6割程度しか反映できていない

地域医療構想は、地域での機能分化・連携を議論する必要があることから、さらに広範囲で、医療機関ごとにも分析可能なデータを使えないかを考え、まずは承諾を取るなど時間がかかることを見越して、今年度は各病院からDPCデータ収集を行い、分析する方針とした

9

DPCデータ提出病院 ≠ いわゆるDPC病院（包括請求） ≠ 急性期病院のみ

令和2年度 データ提出加算に係る説明資料	資料
令和2年5月25日	

令和2年度診療報酬改定 II-6 アウトカムにも着目した評価の推進 ②

データ提出加算の見直し①

➤ データを用いた診療実績の適切な評価のため、データ提出加算の要件の範囲を拡大する。

許可病床数	200床以上	200床未満 50床以上	50床未満又は保有する 病床が1のみの場合
急性期一般1 急性期一般2～7 (許可病床数200床以上)、 地域包括ケア病院	データの提出が必須		
急性期一般2～7 (許可病床数200床未満)、 回復期リハビリテーション病院1,2, 3,4	データの提出が必須		データの提出が必須 (令和2年3月31日までの 経過措置終了)
回復期リハビリテーション病院5,6 療養病床	データの提出が必須 (令和2年3月31日までの経過措置終了) ※経過措置②を設定	現行 データの提出は不要	改定後 データの提出が必須 ※経過措置①及び②を設定

〔経過措置〕

- ①令和2年3月31日時点で現に回復期リハビリテーション病院5,6又は療養病床に係る届出を行っている場合であって、許可病床数が200床未満の病院について、一定の経過措置を設ける。
- ②回復期リハビリテーション病院5,6又は療養病床の病床だけで200床未満の病院であって、電子カルテシステムが導入されていない等、データの提出を行うことが困難であることについて正当な理由がある場合は、データ提出加算に係る届出を行っていない場合であっても、当該入院料を算定できる経過措置を設ける。

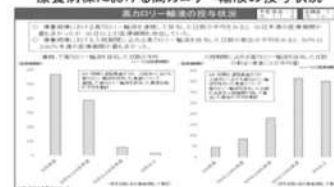
➤ アウトカムにも着目した入院医療の評価を推進する観点とデータの利活用という観点から、提出するデータの 内容を拡充 する。

〔新たに提出する項目(例)〕

- ◆ 要介護度や栄養摂取の状況について、療養病床から急性期病床に拡大
- ◆ 地域包括ケア病院において、入退室時のADLスコアを提出

(データの活用例)

療養病床における高カロリー輸液の投与状況



8

10

DPCデータ提出病院

令和4年度診療報酬改定 Ⅲ-2 医療におけるICTの利活用・デジタル化への対応-⑨

データ提出に係る届出を要件とする入院料の見直し

➤ データに基づくアウトカム評価を推進する観点から、データ提出加算の要件の範囲を拡大する。

許可病床数	200床以上	200床未満
病棟 急性期一般入院料1～6 特定機能病院入院基本料（7対1、10対1） 専門病院入院基本料（7対1、10対1） 地域包括ケア病棟入院料 回復期リハビリテーション病棟入院料1～4	データの提出が必須	
回復期リハビリテーション病棟5 療養病棟入院基本料	データの提出が必須（経過措置③）	
地域一般入院料1～3 専門病院入院基本料（13対1） 障害者施設等入院基本料 特殊疾患入院医療管理料 特殊疾患病棟入院料 緩和ケア病棟入院料	規定なし → データの提出が必須 （経過措置①、③）	規定なし → データの提出が必須 （経過措置②、③）
精神科救急急性期医療入院料	規定なし → データの提出が必須（経過措置③、④）	

〔経過措置〕

- 令和4年3月31日において、現に地域一般入院基本料、専門病院入院基本料（13対1）、障害者施設等入院基本料、特殊疾患入院医療管理料、特殊疾患病棟入院料又は緩和ケア病棟入院料に係る届出を行っている保険医療機関で、許可病床数が200床以上のものにおいては令和5年3月31日までの経過措置を設ける。
- 令和4年3月31日において、現に地域一般入院基本料、専門病院入院基本料（13対1）、障害者施設等入院基本料、特殊疾患入院医療管理料、特殊疾患病棟入院料又は緩和ケア病棟入院料に係る届出を行っている保険医療機関で、許可病床数が200床未満のものにおいては令和6年3月31日までの経過措置を設ける。
- 令和4年3月31日において、病床数によらず、データ提出加算の届出が要件となっている入院料をいずれも有していない保険医療機関であって、地域一般入院料、療養病棟入院基本料、専門病院入院基本料（13対1）、障害者施設等入院基本料、特殊疾患入院医療管理料、回復期リハビリテーション病棟入院料5、特殊疾患病棟入院料、緩和ケア病棟入院料、精神科救急急性期医療入院料のいずれかを有するもののうち、これらの病棟の病床数の合計が200床未満であり、かつ、データ提出加算の届出を行うことが困難であることについて正当な理由があるものについては、当分の間、データ提出加算に係る要件を満たしているものとみなす。
- 精神科救急急性期医療入院料については、令和6年3月31日までの間に限り、データ提出加算に係る要件を満たすものとみなす。

135

DPCデータ提出病院



全病院

急性期一般、地域包括ケア、回復期リハ、療養病棟、地域一般、緩和ケア
DPC（調査様式）データ提出対象

DPC対象病院 （包括評価）

大学病院本院群
DPC特定病院群
DPC一般病院群

DPC準備病院 （出来高）

DPC出来高病院 （出来高）

高岡圏域データ提出状況

2022年10月1日～
2023年9月30日データ



富山県病院一覧		令和6年4月1日現在							
医療機関コード	病院名	病床数計	一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染病床	データ提出加算対象	データ提出状況(～2309)
160210377	富山県厚生農業協同組合連合会高岡病院	497	497					○	11/13
160210914	高岡市民病院	373	305		50	12	6	○	11/2
160211888	医療法人万葉病院	40		40				○	10/17
160211987	独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院	199	199					○	11/6
160211995	医療法人光ヶ丘病院	177	67	110				○	
160212241	医療法人社団泰山会丹保病院	34		34				○	10/18
160212605	富山県済生会高岡病院	251	251					○	11/24
160212670	あさなぎ病院	53	53					○	10/13
160212993	サンバリー高岡病院	100		100					
160213157	柴田病院	124			124				
160213173	川田病院	140			140				
160213215	矢後病院	95			95				
160213348	医療法人社団整志会沢田記念高岡整志会病院	70	70					○	10/19
160213397	駅南あずき病院	120			120				
160213629	サンバリー福岡病院	118		118					
160213876	医療法人高岡みなみハートセンターみなみの杜病院	95	53	42				○	10/31
160510503	陽和温泉病院	60		60					
160510586	医療法人財団正友会中村記念病院	52	52					○	10/30
160510768	ふるさと病院	45			45				
160510933	金沢医科大学水見市民病院	250	245			5		○	10/30
161910702	大島くるみ病院	99		99					
161910769	真生会富山病院	99	99					○	11/7
161910777	グリーンヒルズ若草病院	172			172				
161911049	射水市民病院	199	195			4		○	11/8
161911064	姫野病院	40		40					
161911213	医療法人太閤山病院	116			116				

データ提出(2023年9月分まで)

医療圏	医療機関ベース						病床ベース					
	医療機関全体	提出対象病院	対象比率	データ提出数	提出率	データ比率	医療機関全体	提出対象病院	対象比率	データ提出数	提出率	データ比率
1603 高岡	26	14	53.8%	13	92.9%	50.0%	3,618	2,389	66.0%	2,212	92.6%	61.1%
富山県全体	106	69	65.1%	55	79.7%	51.9%	14,689	10,787	73.4%	9,681	89.7%	65.9%

病床規模	医療機関ベース						病床ベース					
	医療機関全体	提出対象病院	対象比率	データ提出数	提出率	データ比率	医療機関全体	提出対象病院	対象比率	データ提出数	提出率	データ比率
100床未満	12	7	58.3%	7	100.0%	58.3%	782	443	56.6%	443	100.0%	56.6%
100床以上200床未満	10	3	30.0%	2	66.7%	20.0%	1,465	575	39.2%	398	69.2%	27.2%
200床以上400床未満	3	3	100.0%	3	100.0%	100.0%	874	874	100.0%	874	100.0%	100.0%
400床以上600床未満	1	1	100.0%	1	100.0%	100.0%	497	497	100.0%	497	100.0%	100.0%
高岡圏域合計	26	14	53.8%	13	92.9%	50.0%	3,618	2,389	66.0%	2,212	92.6%	61.1%

圏域別充足率 (R3年度DPC公開データを利用)



医療機関所在地ベース患者数／患者居住地ベース患者数をMDC別に算出
100以上の場合、そのMDCは、地域の患者をすべて地域内で診れる供給量がある

二次医療圏名	MDC01	MDC02	MDC03	MDC04	MDC05	MDC06	MDC07	MDC08	MDC09
新川	99.7	94.0	98.5	92.8	79.0	90.3	77.3	84.6	78.0
富山	112.7	120.7	110.0	114.7	114.8	116.3	112.3	122.1	131.1
高岡	79.9	84.1	92.4	91.0	102.0	86.1	131.9	77.2	87.8
砺波	79.8	71.9	79.8	65.2	57.6	85.6	58.5	79.8	67.8

二次医療圏名	MDC10	MDC11	MDC12	MDC13	MDC14	MDC15	MDC16	MDC17	MDC18
新川	96.0	95.3	97.0	79.1	93.2	102.9	98.1	105.3	87.7
富山	108.7	113.9	128.9	121.1	139.7	104.0	102.7	105.3	107.5
高岡	85.4	90.3	76.1	73.4	57.1	81.9	91.7	94.3	92.5
砺波	76.7	86.0	77.0	87.0	61.6	113.3	82.8	93.3	86.0

MDC01	MDC02	MDC03	MDC04	MDC05	MDC06	MDC07	MDC08	MDC09
神経系疾患	眼科系疾患	耳鼻咽喉科系疾患	呼吸器系疾患	循環器系疾患	消化器系疾患、肝臓、胆道、膵臓疾患	筋骨格系疾患	皮膚・皮下組織の疾患	乳房の疾患
MDC10	MDC11	MDC12	MDC13	MDC14	MDC15	MDC16	MDC17	MDC18
内分泌・栄養・代謝に関する疾患	腎・尿路系疾患及び男性生殖系疾患	女性生殖系疾患及び産婦人科疾患、異常妊娠分娩	血液・造血器・免疫臓器の疾患	新生児疾患、先天性奇形	小児疾患	外傷・熱傷・中毒	精神疾患	その他

患者移動状況

全患者

上段:患者数 下段:平均年齢		医療機関二次医療圏				計	自圏域内 受療割合
		新川	富山	高岡	砺波		
二患者 次居 医療 住 圏地	新川	14,509	2,435	203	12	17,159	84.6%
		70.2	62.7	69.2	59.8	69.1	
	富山	505	54,040	936	98	55,579	97.2%
		47.9	67.0	63.4	55.4	66.8	
	高岡	23	4,988	33,134	632	38,777	85.4%
		44.4	57.9	70.9	62.2	69.1	
	砺波	7	1,010	1,749	11,120	13,886	80.1%
		34.6	55.4	65.1	72.5	70.3	
計		15,044	62,473	36,022	11,862	125,401	90.0%
		69.4	65.9	70.4	71.8	68.2	
自圏域患者 受入割合		96.4%	86.5%	92.0%	93.7%		

15

患者移動状況

救急搬送あり

上段:患者数 下段:平均年齢		医療機関二次医療圏				計	自圏域内 受療割合
		新川	富山	高岡	砺波		
二患者 次居 医療 住 圏地	新川	2600	237	4	2	2,843	91.5%
		77.6	67.6	62.3	47.5	76.7	
	富山	68	12,712	80	25	12,885	98.7%
		61.8	75.3	64.0	63.8	75.1	
	高岡	5	434	6,293	111	6,843	92.0%
		34.2	63.5	77.4	70.6	76.4	
	砺波		72	78	2642	2,792	94.6%
			56.7	69.8	79.8	78.9	
計		2,673	13,455	6,455	2,780	25,363	95.6%
		77.1	74.7	77.2	79.3	76.1	
自圏域患者 受入割合		97.3%	94.5%	97.5%	95.0%		

救急搬送なし

上段:患者数 下段:平均年齢		医療機関二次医療圏				計	自圏域内 受療割合
		新川	富山	高岡	砺波		
二 患 者 次 居 住 医 療 圏 地	新川	11908	2198	199	10	14,315	83.2%
		68.6	62.1	69.4	62.2	67.6	
	富山	437	41,316	856	73	42,682	96.8%
		45.7	64.5	63.4	52.6	64.2	
	高岡	18	4,554	26,841	521	31,934	84.1%
		47.3	57.4	69.3	60.4	67.5	
	砺波	7	938	1671	8478	11,094	76.4%
		34.6	55.3	64.9	70.2	68.1	
計		12,370	49,006	29,567	9,082	100,025	88.5%
		67.7	63.5	68.9	69.5	66.2	
自圏域患者 受入割合		96.3%	84.3%	90.8%	93.3%		

16

患者移動状況

手術あり		医療機関二次医療圏					計	自圏域内 受療割合
上段:患者数 下段:平均年齢		新川	富山	高岡	砺波			
二患者 居療住 圏地	新川	5,556	1,380	176	7	7,119	78.0%	
		68.8	63.0	70.3	59.0	67.7		
	富山	199	23,155	684	52	24,090	96.1%	
		52.7	66.5	64.6	58.1	66.3		
	高岡	8	2,602	15,650	296	18,556	84.3%	
		51.0	60.3	70.1	62.0	68.6		
	砺波	2	560	1,113	4,127	5,802	71.1%	
		30.0	56.6	66.6	70.2	68.2		
計		5,765	27,697	17,623	4,482	55,567	87.3%	
		68.2	65.5	69.7	69.5	67.4		
自圏域患者 受入割合		96.4%	83.6%	88.8%	92.1%			

手術なし		医療機関二次医療圏					計	自圏域内 受療割合
上段:患者数 下段:平均年齢		新川	富山	高岡	砺波			
二患者 居療住 圏地	新川	8,953	1,055	27	5	10,040	89.2%	
		71.1	62.2	61.9	60.8	70.1		
	富山	306	30,885	252	46	31,489	98.1%	
		44.7	67.5	60.3	52.4	67.2		
	高岡	15	2,386	17,484	336	20,221	86.5%	
		40.9	55.4	71.6	62.3	69.5		
	砺波	5	450	636	6,993	8,084	86.5%	
		36.4	54.0	62.5	73.8	71.8		
計		9,279	34,776	18,399	7,380	69,834	92.1%	
		70.1	66.3	71.1	73.2	68.8		
自圏域患者 受入割合		96.5%	88.8%	95.0%	94.8%			

17

高岡圏域【医療機関】【居住患者】 手術有無別DPC6桁疾患TOP20

【手術あり】

患者居住地为高岡圏域

DPC6桁	DPC6傷病名	患者数
020110	白内障、水晶体の疾患	2698
060100	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)	1382
160800	股関節・大腿近位の骨折	664
050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	656
050070	頻脈性不整脈	458
060020	胃の悪性腫瘍	353
060160	鼠径ヘルニア	338
070343	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)腰部骨盤、不安定椎	333
060340	胆管(肝内外)結石、胆管炎	330
110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	309
020220	緑内障	308
070230	膝関節症(変形性を含む。)	308
070350	椎間板変性、ヘルニア	298
060035	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍	284
090010	乳房の悪性腫瘍	245
110070	膀胱腫瘍	241
160610	四肢筋腱損傷	228
020200	黄斑、後極変性	224
160760	前腕の骨折	217
11012x	上部尿路疾患	214

医療機関所在地が高岡圏域

DPC6桁	DPC6傷病名	患者数	※流出数
020110	白内障、水晶体の疾患	2931	-233
060100	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む。)	1416	-34
050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	687	-31
160800	股関節・大腿近位の骨折	657	7
070343	脊柱管狭窄(脊椎症を含む。)腰部骨盤、不安定椎	633	-300
050070	頻脈性不整脈	535	-77
070350	椎間板変性、ヘルニア	502	-204
020220	緑内障	347	-39
110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	311	-2
060160	鼠径ヘルニア	310	28
060340	胆管(肝内外)結石、胆管炎	299	31
020200	黄斑、後極変性	298	-74
060020	胃の悪性腫瘍	287	66
070230	膝関節症(変形性を含む。)	281	27
160610	四肢筋腱損傷	265	-37
07040x	股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む。)	260	-57
060035	結腸(虫垂を含む。)の悪性腫瘍	255	29
110200	前立腺肥大症等	254	-49
090010	乳房の悪性腫瘍	209	36
11012x	上部尿路疾患	209	5

多く圏域外から流入している

1~2割程度が圏域外で診られている

18

高岡圏域【医療機関】【居住患者】 手術有無別DPC6桁疾患TOP20

【手術なし】

患者居住地が高岡圏域

DPC6桁	DPC6傷病名	患者数
180030	その他の感染症(真菌を除く。)	960
050130	心不全	911
010060	脳梗塞	841
040080	肺炎等	840
050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	775
040081	誤嚥性肺炎	746
040040	肺の悪性腫瘍	720
110310	腎臓又は尿路の感染症	535
110080	前立腺の悪性腫瘍	431
110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	424
160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。)	365
130030	非ホジキンリンパ腫	323
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	315
140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	302
100380	体液量減少症	300
10007x	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)	269
010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	237
030400	前庭機能障害	220
060020	胃の悪性腫瘍	220
06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	216

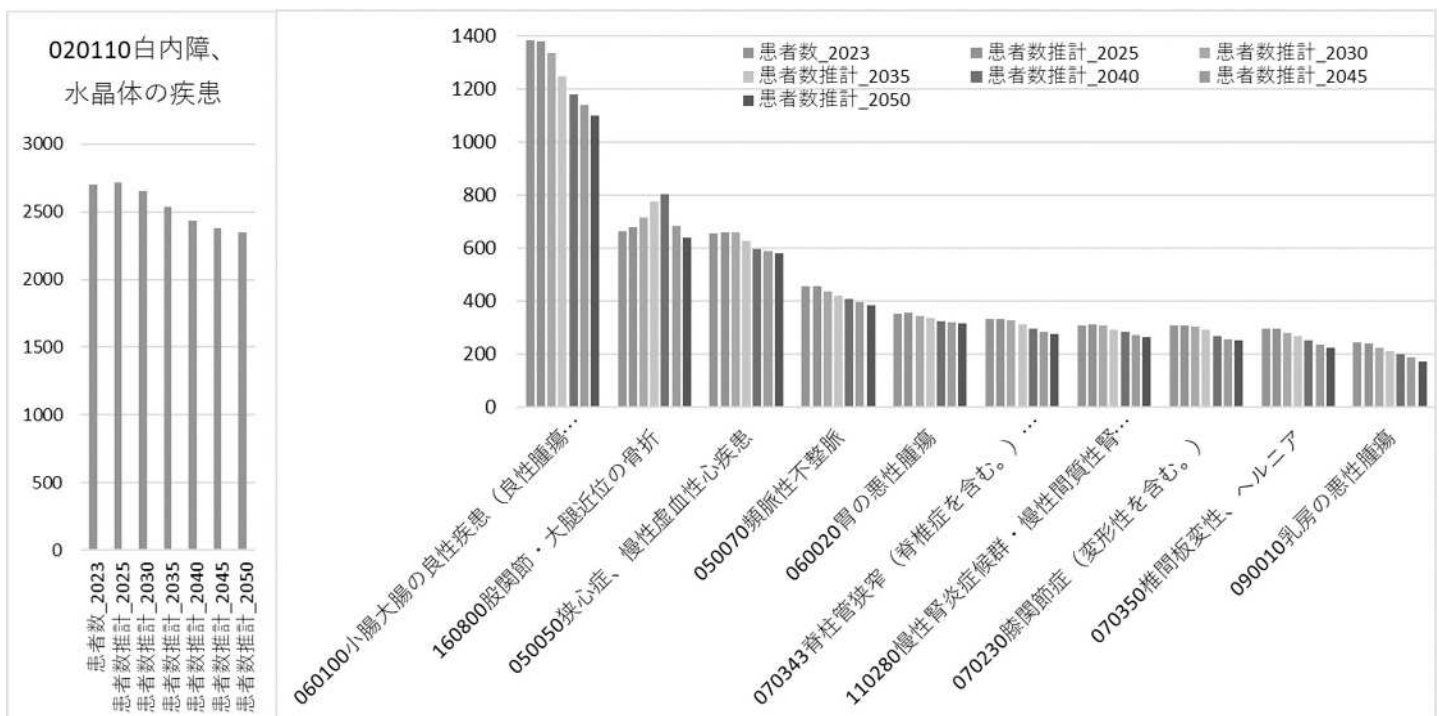
医療機関所在地が高岡圏域

DPC6桁	DPC6傷病名	患者数	※流出数
180030	その他の感染症(真菌を除く。)	911	49
050130	心不全	892	19
040080	肺炎等	816	24
050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	808	-33
010060	脳梗塞	761	80
040081	誤嚥性肺炎	727	19
040040	肺の悪性腫瘍	682	38
110310	腎臓又は尿路の感染症	523	12
110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	407	17
110080	前立腺の悪性腫瘍	380	51
160690	胸椎、腰椎以下骨折損傷(胸・腰髄損傷を含む。)	364	1
100380	体液量減少症	299	1
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	288	27
140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	268	34
130030	非ホジキンリンパ腫	262	61
10007x	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く。)	254	15
030400	前庭機能障害	216	4
010040	非外傷性頭蓋内血腫(非外傷性硬膜下血腫以外)	203	34
180010	敗血症	197	-1
060380	ウイルス性腸炎	195	14

1割程度が圏域外で診られているが
その他はおおむね圏域内で診られている

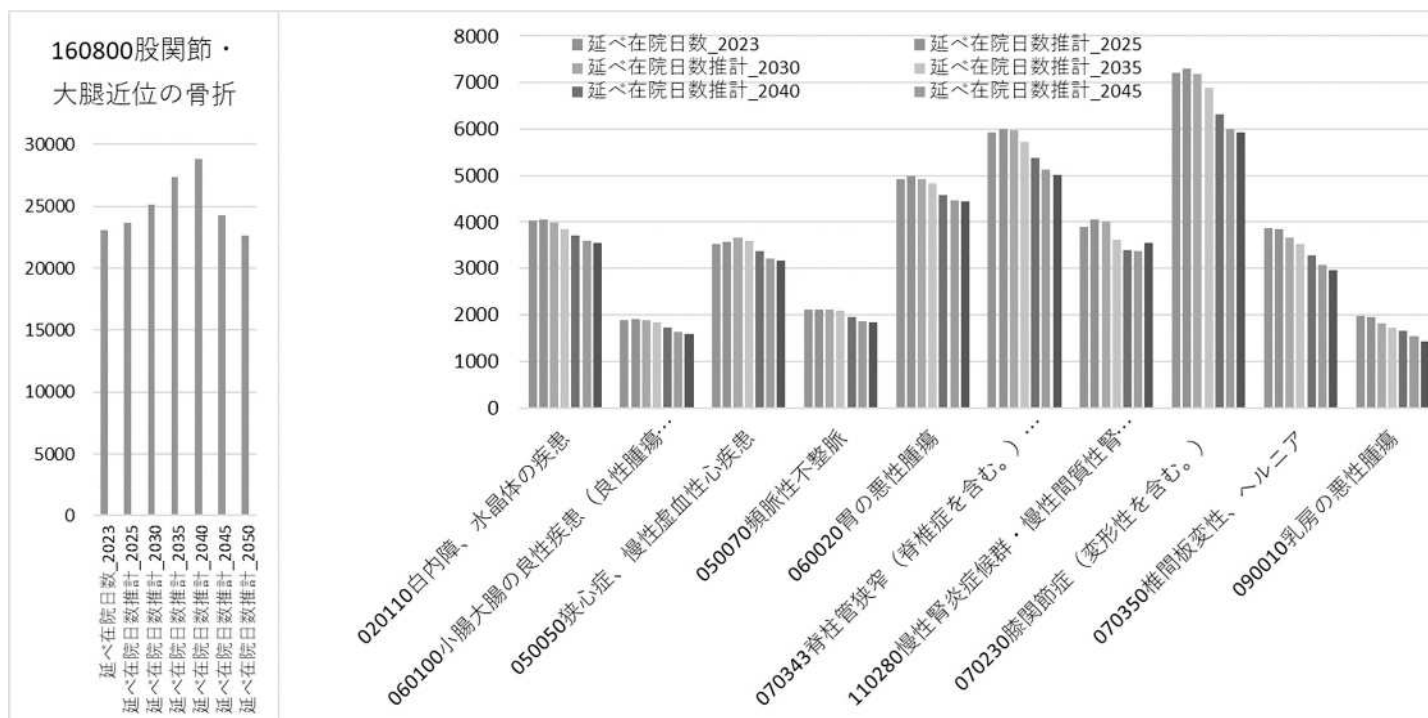
19

患者数将来推計 (手術あり)



現状多くある手術あり症例は、今後大腿骨骨折以外は減少の傾向が推測される
ただし、胃の悪性腫瘍や膝関節症などは、現在少し流出している状況のため、
しばらくは圏域内の医療機関としては、特に大きく受け入れ量は変わらない可能性も
(増加予測の大腿骨骨折手術も2040年あたりがピーク?)

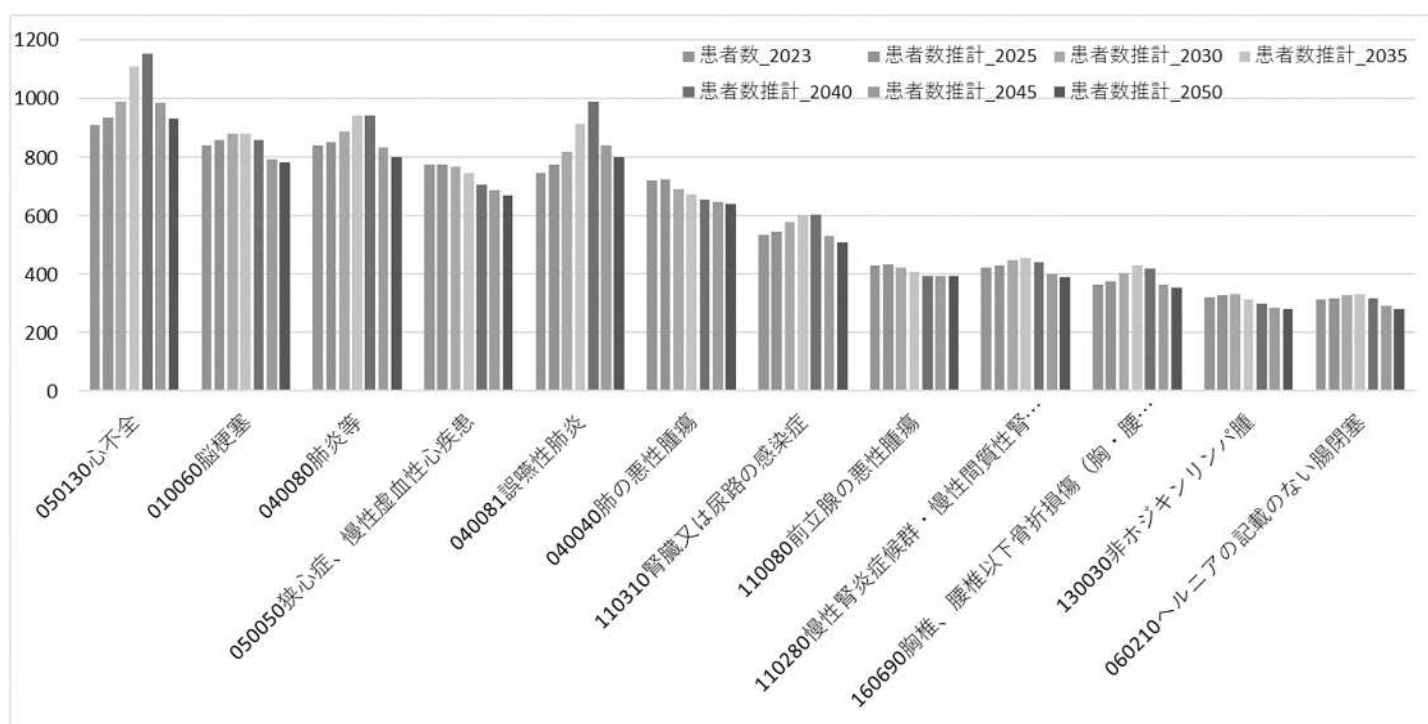
延べ在院日数将来推計（手術あり）



患者数の動きに合わせて、延べ在院日数も変動するが、もともと在院日数が長めの疾患もあり地域で確保する病床機能と量をどう考えていくかがポイントとなる

21

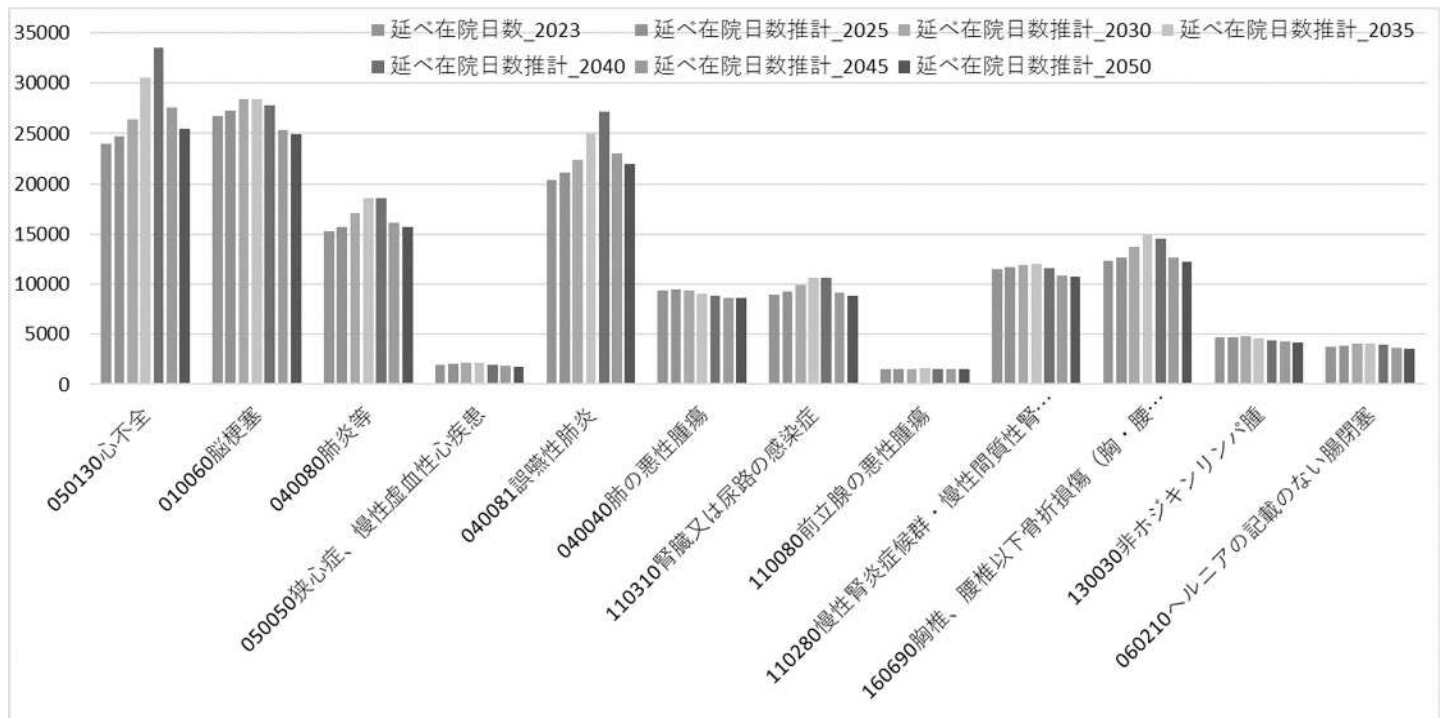
患者数将来推計（手術なし）



心不全や誤嚥性肺炎などの増加に伴う時間外救急などへの対応はどう考えるか？（ただし、今後増加が見込まれる疾患も2040年あたりがピーク？）

22

延べ在院日数将来推計（手術なし）



ここに挙げている傷病だけでも、2040年には年間約24,000床（1日あたり約65床）必要？
ただしそのあとには大きく減少することに対して、どう対応する？

23

参考：
富山県全体
データ

富山県手術有無別MDC別 DPC6桁疾患TOP5ずつ

【手術あり】
黄色は、現状の件数がピーク
と推測される疾患

MDC	DPC6傷病名	患者数	MDC	DPC6傷病名	患者数
01	010060脳梗塞	239	10	100020甲状腺の悪性腫瘍	180
01	010010脳腫瘍	144	10	10007x2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	38
01	010070脳血管障害	129	10	100100糖尿病性腎症	35
01	010030末梢脳動脈硬化	119	10	100130甲状腺の良性腫瘍	35
01	010040非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）	105	10	100330栄養障害（その他）	31
02	020110白内障、水晶体の疾患	6,972	11	11012x上部尿路疾患	850
02	020220緑内障	686	11	110070膀胱腫瘍	824
02	020200黄斑、後極変性	618	11	110280慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	735
02	020160網膜剥離	287	11	110200前立腺肥大症等	449
02	020240硝子体疾患	200	11	110080前立腺の悪性腫瘍	325
03	030350慢性副鼻腔炎	329	12	12002x子宮頸・体部の悪性腫瘍	483
03	030440慢性化膿性中耳炎・中耳炎聴覚	182	12	120060子宮の良性腫瘍	458
03	03001x頭頸部悪性腫瘍	173	12	120260分娩の異常	438
03	030230扁桃、アデノイドの慢性疾患	170	12	120180胎児及び胎児付産物の異常	382
03	030240扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭扁桃炎	151	12	120070解果の良性腫瘍	378
04	040040肺の悪性腫瘍	657	13	130030非ホジキンリンパ腫	207
04	040081びまん性肺炎	166	13	130100播種性血管内凝固症候群	57
04	040200気胸	133	13	130010急性白血病	49
04	040080肺炎等	86	13	130090貧血（その他）	37
04	040150肺・縦隔の感染、腫瘍形成	54	13	130040多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物	35
05	050050狭心症、慢性虚血性心疾患	1,493	14	140010妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	83
05	050070虚脱性不整脈	1,271	14	14031x先天性心疾患（動脈管開存症、心房中隔欠損症を除く。）	76
05	050030急性心筋梗塞（絞扼性合併症を含む。）、再発性心筋梗塞	532	14	140590滞留嚢腫	42
05	050210虚脱性不整脈	480	14	140210先天性耳嚢孔、副耳	37
05	050170閉塞性動脈硬化症	459	14	140490手足先天性疾患	35
06	060100小腸大腸の良性疾患（良性腫瘍を含む。）	3,225	15	150120脳性麻痺	13
06	060160鼠径ヘルニア	1,117	15		
06	060340胆嚢（肝内外）結石、胆管炎	1,113	15		
06	060020胃の悪性腫瘍	1,095	15		
06	060035結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍	983	15		
07	070230股関節症（変形性を含む。）	1,124	16	160800股関節・大腿近位の骨折	1,979
07	070343脊柱管狭窄（脊髄症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎	973	16	160760前腕の骨折	701
07	070350椎間板変性、ヘルニア	685	16	160610四肢関節損傷	511
07	07040x股関節骨頭壊死、股関節症（変形性を含む。）	559	16	160100頭蓋・顔蓋内損傷	507
07	070341脊柱管狭窄（脊髄症を含む。） 頸部	288	16	160850足関節・足部の骨折・脱臼	435
08	080006皮膚の悪性腫瘍（黒色腫以外）	105	17	170040気分〔感情〕障害	17
08	080010膿皮症	84	17	170030統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	11
08	080007皮膚の良性新生物	83			
08	080250疥癬潰瘍	30			
08	080005黒色腫	22			
09	090010乳房の悪性腫瘍	806	18	180040手術・処置等の合併症	469
09	090020乳房の良性腫瘍	48	18	180030その他の感染症（真菌を除く。）	140
09			18	180010敗血症	119
09			18	180060その他の新生物	61
09			18	180035その他の真菌感染症	21

25

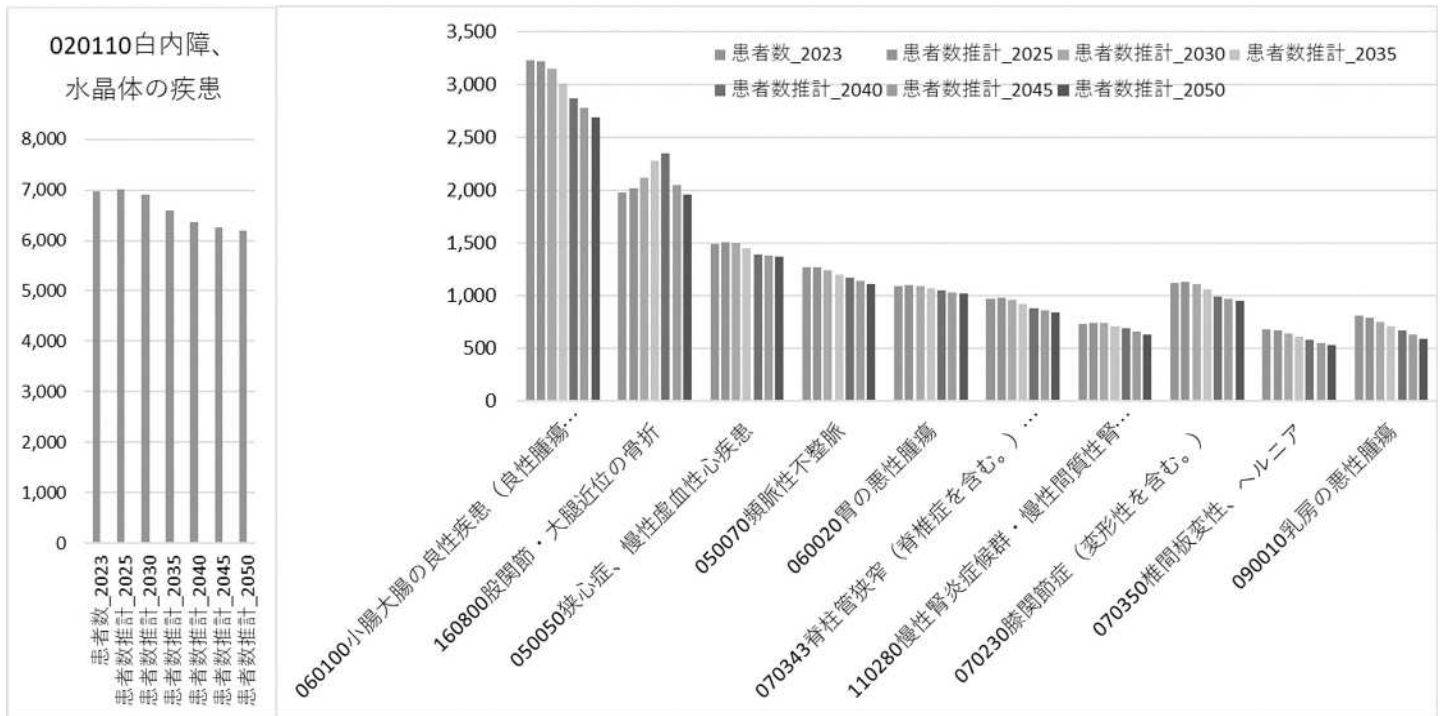
富山県手術有無別MDC別 DPC6桁疾患TOP5ずつ

【手術なし】
黄色は、現状の件数がピーク
と推測される疾患

MDC	DPC6傷病名	患者数	MDC	DPC6傷病名	患者数
01	010060脳梗塞	2,885	10	100380体流量減少症	983
01	010040非外傷性頭蓋内血腫（非外傷性硬膜下血腫以外）	854	10	10007x2型糖尿病（糖尿病性ケトアシドーシスを除く。）	929
01	010230てんかん	661	10	100393その他の体液・電解質・酸塩基平衡障害	297
01	01021x認知症	508	10	100330栄養障害（その他）	158
01	010069脳卒中中の続発症	415	10	100040糖尿病性ケトアシドーシス、非ケトン酸症	148
02	020200変性、後極変性	164	11	110310腎臓又は尿路の感染症	1,933
02	020210網膜血管閉塞症	41	11	110080前立腺の悪性腫瘍	1,279
02	020180糖尿病性増殖性網膜症	19	11	110280慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	1,108
02	020320眼瞼、涙器、眼窩の疾患	16	11	110070膀胱腫瘍	269
02	020370視神経の疾患	13	11	110290急性腎不全	264
03	030400前庭機能障害	814	12	12002x子宮頸・体部の悪性腫瘍	382
03	030250極端無呼吸	566	12	120170早産、切迫早産	305
03	03001x頭頸部悪性腫瘍	310	12	120010卵巣・子宮附属器の悪性腫瘍	267
03	030240扁桃周囲膿瘍、急性扁桃炎、急性咽頭扁桃炎	191	12	120260分娩の異常	144
03	030428突発性聴覚	156	12	120180胎児及び胎児付産物の異常	128
04	040080肺炎等	3,021	13	130030非ホジキンリンパ腫	1,262
04	040081びまん性肺炎	2,455	13	130010急性白血病	435
04	040040肺の悪性腫瘍	2,258	13	130090貧血（その他）	243
04	040090急性気管支炎、慢性気管支炎、下気道感染症（その他）	688	13	130060骨髄異形成症候群	234
04	040110間質性肺炎	587	13	130040多発性骨髄腫、免疫系悪性新生物	215
05	050130心不全	3,115	14	140010妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	1,181
05	050050狭心症、慢性虚血性心疾患	1,713	14	14031x先天性心疾患（動脈管開存症、心房中隔欠損症を除く。）	85
05	050210虚脱性不整脈	283	14	140500骨軟骨先天性形成異常	32
05	050070虚脱性不整脈	278	14	14029x動脈管開存症、心房中隔欠損症	23
05	050080弁膜症（混合弁膜症を含む。）	187	14	140550先天性表在性腎疾患	13
06	060210ヘルニアの記載のない腸閉塞	994	15	150040熱性けいれん	205
06	06007x痙攣、痙攣の種属	784	15	150070川崎病	180
06	060380ウイルス性肺炎	772	15	150120脳性麻痺	59
06	060020胃の悪性腫瘍	684	15	150110染色体異常（ターナー症候群及びクラインフェルター症候群を除く。）	17
06	060035結腸（虫垂を含む。）の悪性腫瘍	616	15		
07	070560重篤な臓器病変を伴う全身性自己免疫疾患	381	16	160690胸椎、腰椎以下骨折損傷（胸・腰部損傷を含む。）	1,449
07	070343脊柱管狭窄（脊髄症を含む。） 腰部骨盤、不安定椎	361	16	160800股関節・大腿近位の骨折	737
07	071030その他の筋骨格系・結合組織の疾患	190	16	160650コンパートメント症候群	526
07	070350椎間板変性、ヘルニア	168	16	160100頭蓋・顔蓋内損傷	525
07	070470関節リウマチ	166	16	160980骨盤損傷	497
08	080010膿皮症	697	17	170040気分〔感情〕障害	338
08	080020帯状疱疹	455	17	170030統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	315
08	080270食物アレルギー	239	17	170050神経性症候群、ストレス関連障害及び身体表現性障害	206
08	080190脱毛症	127	17	170060その他の精神及び行動の障害	162
08	080250疥癬潰瘍	90	17	170020精神作用物質使用による精神及び行動の障害	72
09	090010乳房の悪性腫瘍	360	18	180010敗血症	652
09			18	180040手術・処置等の合併症	161
09			18	180050その他の悪性腫瘍	68
09			18	180035その他の真菌感染症	26
09			18	180060その他の新生物	14

26

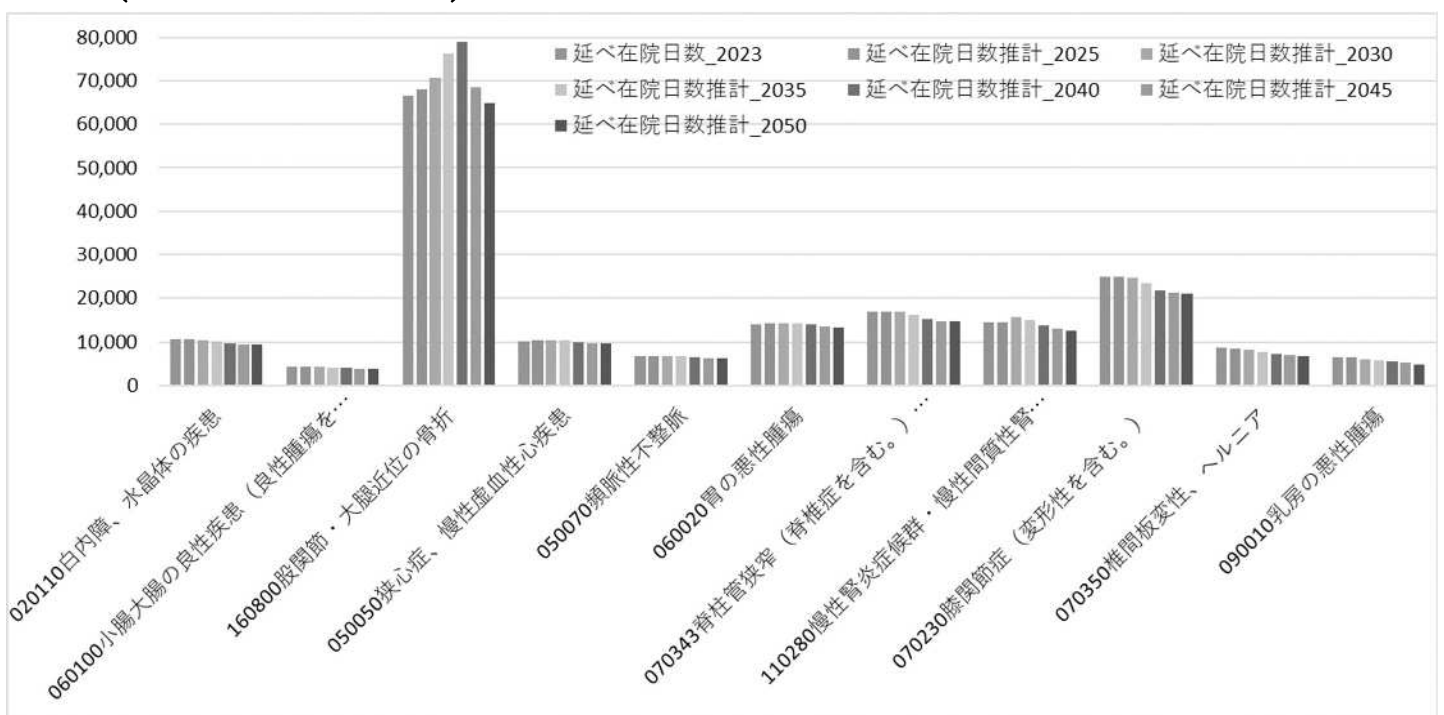
富山県患者数将来推計 (手術あり)



高岡圏域で現状多くある手術あり症例の推移は、富山県全体でも同様になると推測される

27

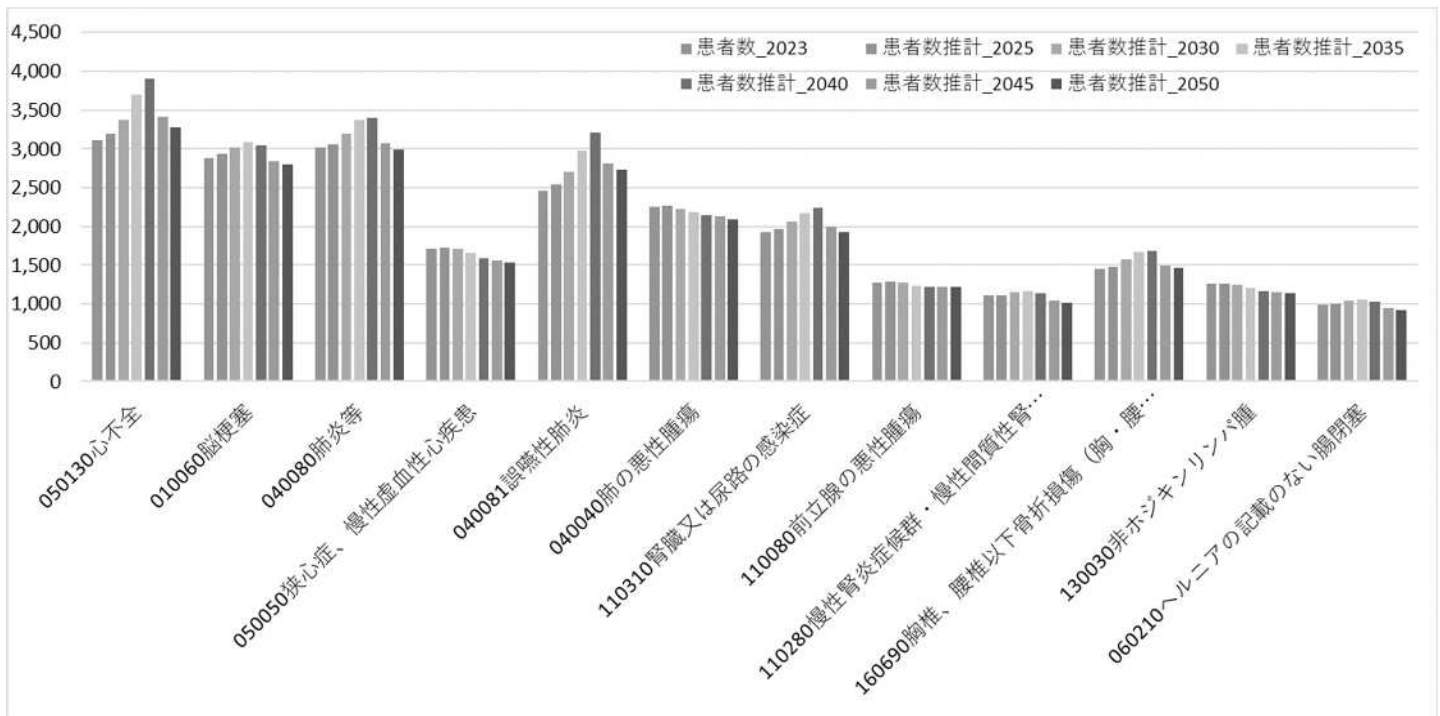
富山県延べ在院日数将来推計 (手術あり)



患者数の動きに合わせて、延べ在院日数も変動
地域で確保する病床機能と量をどう考えていくか

28

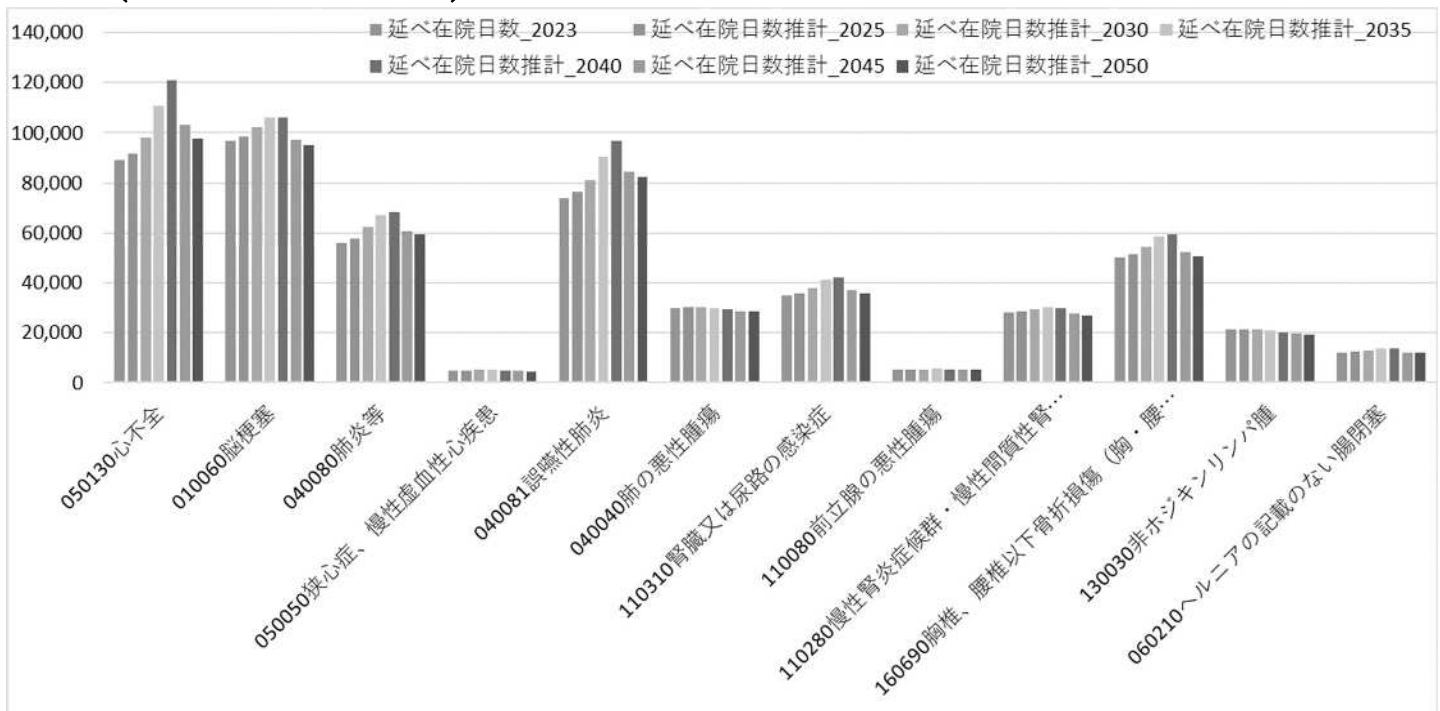
富山県患者数将来推計 (手術なし)



心不全や誤嚥性肺炎の増加に伴う時間外救急などへの対応はどう考えるか？
(ただし、今後増加が見込まれる疾患も2040年あたりがピーク？)

29

富山県延べ在院日数将来推計 (手術なし)



ここに挙げている傷病だけでも、2040年には年間約100,000床(1日あたり約300床)必要？
ただしそのあとには大きく減少することに対して、どう対応する？

30